

## 令和4年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任 委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
1	上下高校の魅力開発と支援	総務文教	抜本的な見直しのう え継続すべき	<p>地域に高校を残すことは、地域住民にとっては大切なことであり、今必要とされる高校とは何かをもっと考え、付加価値を全面に打ち出した学校の在り方を構築されたい。</p> <p>また、単に高校の魅力づくりにとどまらず、地域の魅力づくりの一環ととらえた事業展開をされたい。</p> <p>その際、他の2つの高校に通う生徒や保護者にも、不公平感が生まれないよう配慮して取り組まれたい。</p>
2	地域の教育力の向上 ～公民館から広がる 可能性とチャンス～	総務文教	一部見直しのう え継続すべき	<p>SNSの活用など利用者数を増やすための工夫を凝らし、幅広い世代や地域に寄り添った企画の立案、取り組みを積極的に進める人材配置や育成に取り組まれたい。</p> <p>また、協働のまちづくりの観点から、「公民館による地域コーディネート事業」、「学びを通じた地域づくり事業」については、それぞれの地域が抱える課題解決につながる取り組みとして、さらに拡充を図り、各公民館の特色を生かした事業を継続して取り組まれたい。</p>
3	歴史的財産保存・活用 事業【備後国府跡】	総務文教	一部見直しのう え継続すべき	<p>歴史的財産保存・活用は、相当の予算と長い年月をかけて実施し効果を上げる事業であり、鳥居地区の追加指定を着実に進めるよう取り組まれたい。</p> <p>また、広く市民や児童生徒へ啓発を図る方法を検討し、住民参加型の取り組みになるよう工夫されたい。持続可能な活用の実現に向け、より多くの人からアイデアを収集し、保存・活用と併せて、賑わいと呼び込むことができる事業を同時に検討しながら取り組みを進められたい。</p>

## 令和4年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
4	スポーツによるまちづくりの推進	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>スポーツ施設の充実は概ね実現されつつあるが、府中市スポーツ協会等との体制強化の支援、連携を図り、施設を活用した賑わいの創出につながるソフト面の充実をされたい。</p> <p>また、広い年齢層が、気軽に恒常的に利用できるよう工夫をしつつ、合宿施設等の整備を計画的かつスピーディーに取り組み、施設の活用頻度を向上させ費用対効果が得られるよう事業を拡充されたい。</p> <p>また、総合型地域スポーツクラブについては、中学校区に1団体の設立をめざし、積極的に取り組みを進められたい。</p>
5	リモート相談・多点間連携構築事業(市民総合窓口システム)	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>必要な環境整備、人材配置、制度設計を行い、利用者にとどまらず、働く側もデジタル化の恩恵を享受できる仕組みを構築されたい。</p> <p>また、市民サービスの向上に向けて、業務効率化・業務連携を図ると同時に、市民へのわかりやすい広報にも力を入れるよう取り組まれたい。</p>
6	子どもの予防的見守り支援事業	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	<p>まだデータの蓄積が不十分であり、途上中のため、継続して行っていただきたい。しかし、スピード感は必要で、今後は県等とさらなる連携を図り、早急に事業を完成させ、リスクが懸念される事案を未然に防げるよう取り組んでいただきたい。</p>
7	フレイル予防・健康習慣事業	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	<p>健康寿命の延伸を図る上で、非常に重要な事業となるため、継続して行っていただきたい。しかし、フレイルチェック者数の目標値は未達成であり、改善の余地がある。市内のふれあいサロン(89カ所)に限定せず、人が集まる庁舎内やイベント会場などでも実施する事や健康への関心が低い方へのアプローチも考察され、創意工夫をして取り組んでいただきたい。</p>

## 令和4年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
8	市民の健康づくり (健診) 事業	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	市民の健康づくりのためにも継続して行っていただきたい。しかし、イベントに併設や目標値の項目・数値設定、受診しやすい環境づくりなどは見直しを行うこと。また健診受診をされない方が受診行動へ移すきっかけとなる方法を検討し、取り組んでいただきたい。
9	湯が丘病院施設改築事業	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	今後も患者は増加する傾向にあるため、これからの時代に必要な診療施設であるが、コロナのクラスター発生等により、進捗が遅延しているのもしっかり進捗管理を行い、遅れを取り戻しながら、進めて頂きたい。しかし、場合によっては医療従事者確保の観点や受診者の利便性等を考えると建て替え場所や規模も含めて、再検討も一つの手段として、取り組まれない。 また、今後の府中市の精神医療や医療のあり方も含めて、委員会として議論できる場を設けていただきたい。
10	農業ビジョン(R4予算重点の進め方)	建設産業	現状のまま継続すべき	新規就農者の育成は着実に結果が出ており、今後もきめ細かく相談を行える体制を維持し、更なる新規就農者を確保できるよう事業を継続していただきたい。 更なる事業展開に向けて、6次産業化を見据えた拠点整備についても検討されたい。
11	i-coreFUCHU を活用した賑わいづくり	建設産業	現状のまま継続すべき	この事業の賑わいづくりについて、順調に効果を発揮していると考えられる。第2期整備エリアのオープンに向け、多世代の賑わいの拠点となるよう近隣施設と連携し、事業を継続していただきたい。 また、第3期整備に向けて設備等を早期に検討し、準備を進められたい。

## 令和4年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任 委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
12	ドローンの実証支援から日本有数の産業の集積地へ	建設産業	一部見直しのう え継続すべき	ドローンの活用で地域課題を解決することは理解できるが、専門人員の確保や市職員の免許取得等の試みが必要と考える。 また、産業の集積地を目指すならば、ドローン企業の開発・誘致の目標を立てられ、取り組んでいただきたい。
13	民間事業者のノウハウを活用したキャンプ場づくり	建設産業	現状のまま継続 すべき	民間事業者のアイデアやノウハウを取り入れることにより、キャンプ場の賑わいと利用者増を期待するが、ワーケーション施設については、その実態と費用対効果分析をしっかりと行っていただきたい。
14	歴史的建造物の保存・活用事業(分散型ホテルと恋しき)、食の魅力発信事業	建設産業	一部見直しのう え継続すべき	「恋しき」は府中市のシンボルとして観光振興に寄与するものと期待するが、「恋しき」を活用した分散型ホテル事業としての取り組みの方向性が見えない。割烹旅館として活用するなど、方向性を明確にした上で、事業を進められたい。